



とよかわの

みつけた!



桜と菜の花 穏やかな佐奈川

佐奈川は千両町の杣坂峠付近を源流とし、市内を縦断しながら三河湾に注いでいます。この川の名前の由来は、川底が砂利であったため水の吸収が早く、水が漏れてなくなってしまい、七輪の「サナ」（七輪の底部についている灰受）のようであったため、この名前がついたといわれています。

昔の佐奈川は、流路が溝の形態で蛇行し、堤防も貧弱でした。川幅は、下流部が上流部より狭い所があったため、大雨が降る時にはらんし、周辺の田畑や道路などを水浸しにしていました。そこで、昭和14（1939）年に佐奈川の大規模な改修工事が着工され、当初は人力により工事が進められました。着工以来約14年もの歳月を経て、昭和28（1953）年に第一期の改修工事が終了し、これを記念して数多くの桜が植樹されました。

多くの皆さんの努力のおかげで、現在の穏やかな佐奈川があることを知らない方も多いのではないのでしょうか。現在では、約730本の桜と菜の花の景観が、春の豊川の名物になっており、多くの方が訪れます。桜と菜の花を見に佐奈川へ、ぜひ、お越しください。

